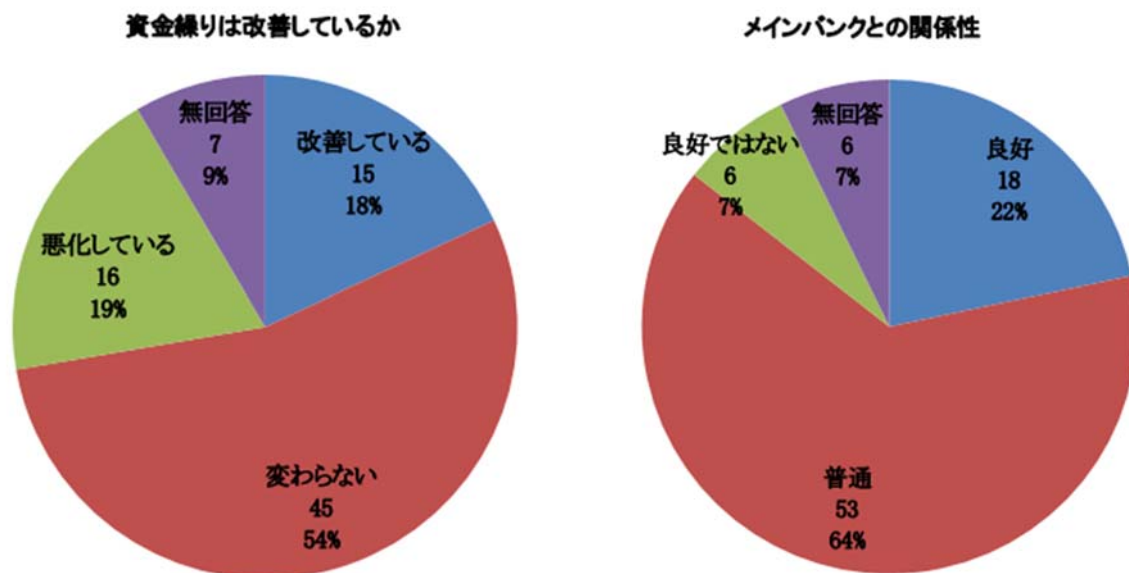


4. 資金繰り

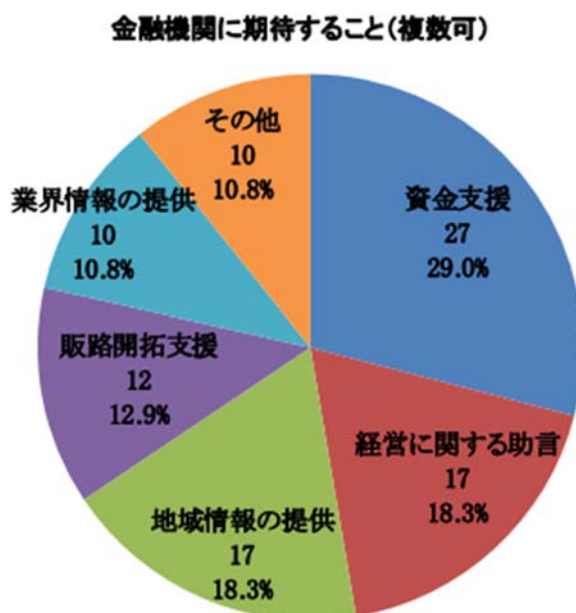
① 資金繰りと金融機関との関係性

資金繰りについては、悪化していると回答している事業者が2割弱あり、採算性の悪化が徐々に資金繰りに影響を与えている傾向がみられる。メインバンクとの関係性は、良好ではないと回答した事業者がごく一部みられるが、8割以上の事業者が問題なく関係性を維持できている。



② 金融機関に期待する事

事業者が金融機関に期待する支援等について確認したところ、「資金支援」が最も割合が高かった。それ以外にも「経営助言」、「情報提供」、「販路開拓支援」など金融機関の本分である資金的な支援以外にも、事業者それぞれの経営課題解決のため様々な支援を期待していることが分かった。

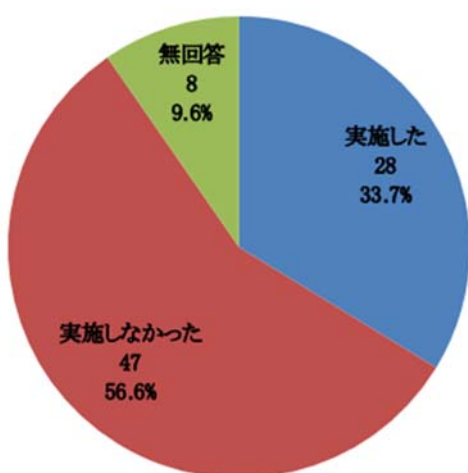


③ 設備投資

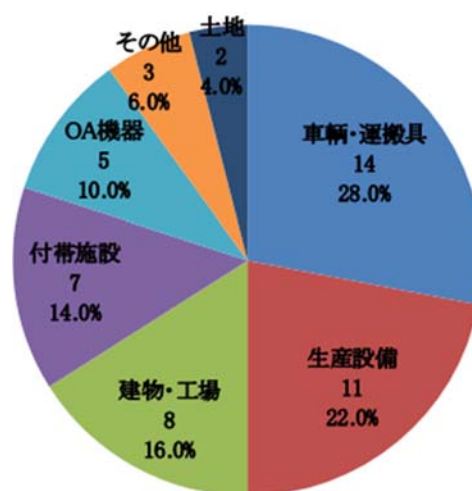
2015年に設備投資を実施した事業者は33.7%あり、投資内容は「車両・運搬具」が最も多い。一方で「生産設備」や「建物・工場」への投資も多く自社の生産能力の強化に積極的に投資した事業者が存在していることがわかる。

2016年に投資を計画している事業者の割合は減少するが、投資を計画している事業者の中では、「生産設備」、「建物・工場」に投資する事業者の割合が高く、積極的な事業展開を計画している事業者の存在が確認できる。

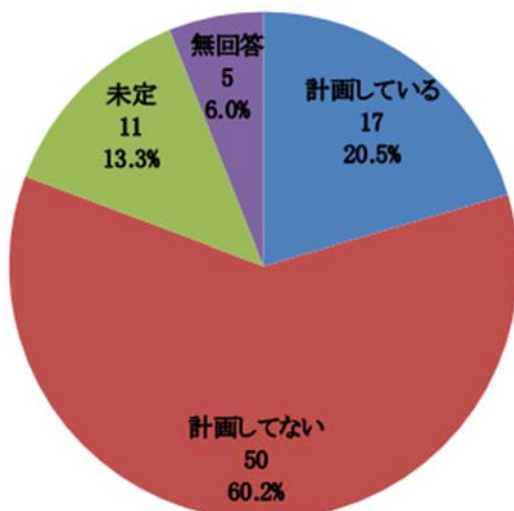
2015年設備投資を実施したか



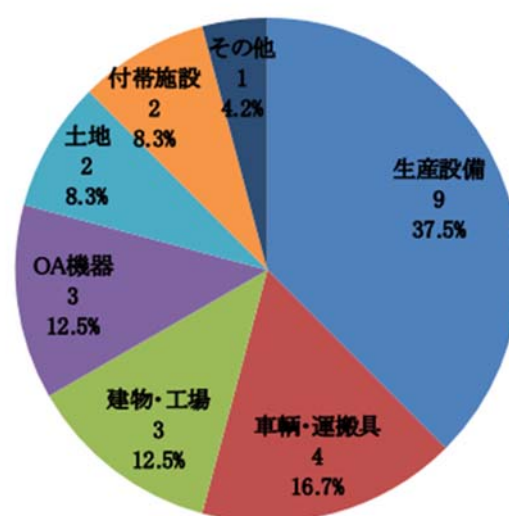
投資内容は(複数可)



2016年に設備投資を計画しているか



計画の投資内容(複数可)



④ 投資資金の調達

設備投資にあたり、その調達方法を確認した。半数の事業者が金融機関からの借入を必要としており、借入の際の事業計画作成など適切な借入支援が必要であると言える。一方で補助金などの各種施策の利用を検討している事業者は少なく、投資にあたり補助金などの利用が可能である旨の情報発信により事業者の資金負担を軽減することができる可能性がある。

投資資金の調達方法(複数可)

